

令和4年度児童発達支援自己評価結果(事業所)

公表： 令和5年1月12日

配布数：15

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境や体制整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	8	7	基準は満たしているが、出席人数によっては狭く感じる時がある。密になるため窓を開ける、扉を開けるなどして換気をしている。 また、席の配置なので工夫している。療育内容によって場所を変え広い部屋や屋外で活動をしている。
	職員の配置数は適切であるか。	10	5	基準は満たしているが、職員の休みが重なってしまった時はクラス合同保育にする等工夫をしている。また、必要時にはクラス相互にサポートに入るようにしている。
	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	14	1	一人ひとりの下駄箱や、ロッカー椅子、お帳面等見て分かりやすいように工夫してある。 各クラスで連絡したり、掲示して知らせている。役員さんにはクラス連絡をしていただいている。 外国の方への言語の配慮が課題となっている。
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	1	改修され、とても使いやすく過ごしやすい環境になった。毎日消毒、掃除をしている。 補装具が多いため収納できないままになっていることが課題となっている。
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14	1	目標管理をして、それぞれ取り組んでいる。新人職員への指導はマニュアルに沿って、今後取り組んでいく。 目標を意識した日々の支援記録を記載するようにしており、会議等で支援方法を話し合いをしている。
	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	14	1	保護者評価を行い、職員全員が確認をしている。改善が必要なことは協議をして、改善している。
	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	14		自己評価表及び保護者評価をホームページで公表している。
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14		3年に一度第三者評価を受審し、結果をもとに改善策を考えている。完全にできていない部分もある。
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	15		それぞれ研修報告書を作成し、問題点や、改善点、1ヶ月後の評価をしている。 zoom研修を中心に可能な限り行っている。 業務としての研修の他、職員自身が希望した研修の参加もできる。
	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15		定期的に子どもたちの様子や、保護者意向などについて職員間で話し合うようにしている。 保護者にわかりやすく記入するよう心がけている。
子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	12	2	独自のアセスメントシートの使っているが、改善の余地がある。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	1	児童発達支援計画に記入している。
	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	14	1	半年毎に評価し目標を設定している。児童発達支援計画がいつでも見られるところに置いてあり確認ができるようにしている。
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	3	クラス担任を中心に決めている。1ヶ月の中でさまざまな活動ができるように、また合同での遊びなど話し合っている。
	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	13	2	クラスによって、同じ活動でも内容を変えるようにしている。
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適時組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか。	14	1	集団に生かせるよう保育を考えている。
	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	12	3	内容や役割分担は、朝礼とその後に話し合っている。
	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	7	8	行事は行うことができている。日常的には行われていないが、すぐに周知が必要なことは話し合いをしている
	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15		日々、記録ソフトであるFTケアで記録を行っている。
関係機関や保護者との連携	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	13	2	半年に1回見直しをしている。それ以上が難しいことも多い。
	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	15		担任と児童発達支援管理責任者で参加している。
	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	15		必要に応じて連絡をとっている。保健師と入園後も連携をとるようにしている。
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	13	1	行っているが、回数は少ない。
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	12	3	主治医とは連絡体制は整ってないが、協力医とは連絡体制がとれている。
	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14		障害児等療育支援事業で「アフター」として訪問したり、必要に応じて保護者や相談支援専門員と連絡している。
	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14		アフターで訪問しているが、特別支援学校が中心となっている。
	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	12	2	障害児等療育支援事業で研修を行っている。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	2	12	法人内の保育園との交流は打ち合わせを行い、コロナの収束後に開始する予定となっている。
	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	11	3	園長が自立支援協議会の会長を担っている。また、こども部会や療育関係者連絡会議にも積極的に参加している。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15		頑張ったことや、できるようになったことを、伝えあい共に喜び、今後の成長に繋げている。常に保護者の方には発達状況や、目標を伝えるようにしている。送り迎えの時に子どもの様子をできるだけやり取りするように心がけている。
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援(相談、勉強会、ペアレント・トレーニング等)を行っているか。	13	2	保護者勉強会を行っている。
	重要事項説明書をもとに運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14		入園時に園長が行い、質問があれば職員も答えられるようにしている。
	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14		説明後にサインをいただいている。
	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	14	1	相談を受けたら直ぐに応えるようにしている。アドバイスをした後の事も聞くようにしている。すぐに答えられない相談等には職員間で話をもっている。
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	14		保護者会の活動を職員が支援している。
	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15		すぐに対応できない時は後日改めて時間をとってもらっている。緊急性が高い時はその場で聞くようにしている。
	定期的におたより等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	15		「あゆみだより」を発行している。掲示板や保護者の連絡によって伝わるように工夫している。
非常時等の対応	個人情報取り扱いに十分注意しているか。	15		振り返りチェックリスト等で個人情報の取扱いに注意できているか確認している。
	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15		外国籍の方とは翻訳機等を使用している。分かりやすいサインや、マークを使って伝える工夫をしている。
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	7	コロナ感染症対策のため中止している。福祉まつりも中止になり、行えていない。
	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15		研修を行った。訓練も行っている。
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	15		計画に沿って行っている。定着させていくことが課題となっている。
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	14	1	職員間で情報共有している。

チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14		お盆に名前シールをはり間違えないように工夫している。また、提供する際に口頭で確認するようにしている。 医師の意見書等の提出をお願いしている。
非常時等の対応 アクシデント・インシデント事例集を作成して事業所内で共有しているか。	13	2	アクシデント、インシデントがあった場合は朝礼等で報告し対策を確認している。報告が遅い時があるため課題となっている。 業務日誌に記入しているが、事例集は作成していない。
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14		研修を年1回以上行っている。
どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14		保護者に説明している。